

平成21年度宇宙関係予算【各府省の主な事項】

全府省庁合計 **3,488億円** (対前年度 **+328億円 (+10.4%)**)

【内閣官房】 64,327 (+594)

- 宇宙開発戦略本部に係る経費 104 (新規)
- 情報収集衛星関係経費 64,223 (+490)

【内閣府】 239 (▲26)

- 人工衛星等を活用した被害早期把握システム 135 (▲2)

【警察庁】 708 (▲69)

- 高解像度衛星画像解析システムの運用等 708 (▲69)

【総務省】 4,563 (+242)

- 準天頂システム及び地上／衛星共用携帯電話システムの研究開発 2,087 (+283)
- 「きずな」を利用した国際共同実験 100 (新規)
- 地域衛星通信ネットワークの利用 16 (+1)

【外務省】 183 (▲25)

- 衛星画像による情報収集関係経費 183 (▲25)

※ その他、独立行政法人の運営費交付金の内数として、人工衛星を活用した技術協力を実施。

【文部科学省】 196,613 (+6,001)

- 準天頂高精度測位実験技術 9,300 (+1,880)
- 陸域観測技術衛星2号 1,000 (+596)
- 地球環境変動観測ミッション(GCOM) 7,200 (+2,554)
- H-II Bロケット及び宇宙ステーション補給機 33,403 (+2,085)
- GXロケット(LNG推進系飛行実証プロジェクト) 10,700 (+5,100)
- 金星探査機(PLANET-C) 6,063 (+1,911)
- 日本実験棟「きぼう」の開発・運用・利用等 15,371 (▲1,593)
- 宇宙利用促進調整委託費 300 (新規)

【農林水産省】 2,499 (+554)

- 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用 2,432 (+559)
- 農林水産施策における衛星測位技術の活用 67 (▲5)

【経済産業省】 9,035 (+2,840)

- 小型化等による先進的宇宙システムの研究開発 1,637 (+1,033)
- 次世代地球観測センサ等の研究開発 4,573 (+1,552)
- 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト) 900 (+410)
- 次世代輸送系ミッションインテグレーション基盤技術研究開発 620 (±0)
- 準天頂衛星システム基盤プロジェクト 855 (▲405)

【国土交通省】 11,520 (+7,130)

- 静止気象衛星業務等 9,273 (+7,741)
- 人工衛星の測位分野への利活用 1,338 (▲451)
- 準天頂衛星システムに関する技術開発 385 (▲158)

※ その他、平成20年度第二次補正予算にて、人工衛星を利用した測量に係る経費864百万円を計上。

【環境省】 1,059 (▲180)

- 温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)関連 811 (▲54)
- 気候変動影響モニタリング・評価ネットワーク 237 (▲26)

【防衛省】 58,019 (15,730)

- 弾道ミサイル防衛(BMD)関連 38,998 (+16,979)
- 衛星通信、画像データの受信等 18,942 (▲1,327)
- 総合的な調査研究 78 (新規)

(参考) 平成21年度宇宙関係予算【宇宙基本法条文毎の整理】

府省名	平成20年度 予算	平成21年度 予算	宇宙基本法に基づく分類							
			国民生活 (13条関連)	安全保障 (14条関連)	打上げ等 (15条関連)	民間促進 (16条関連)	信頼性 (17条関連)	先端 (18条関連)	国際協力 (19条関連)	その他
内閣官房	63,733	64,327 (+1%)	—	64,223 (+1%)	—	—	—	—	—	104 (新規)
内閣府	265	239 (▲10%)	239 (▲10%)	—	—	—	—	—	—	—
警察庁	777	708 (▲9%)	708 (▲9%)	—	—	—	—	—	—	—
総務省	4,321	4,563 (+6%)	4,463 (+3%)	—	—	—	—	—	100 (新規)	—
外務省	208	183 (▲12%)	—	183 (▲12%)	—	—	—	—	—	—
文部科学省	190,611	196,613 (+3%)	34,978 (▲12%)	—	83,916 (+12%)	2,164 (+134%)	9,163 (+1%)	17,899 (+17%)	16,123 (▲8%)	32,370
農林水産省	1,945	2,499 (+28%)	2,499 (+28%)	—	—	—	—	—	—	—
経済産業省	6,195	9,035 (+46%)	3,078 (▲9%)	—	4,757 (+70%)	1,200 (+34%)	—	—	—	—
国土交通省	4,390	11,520 (+162%)	11,520 (+162%)	—	—	—	—	—	—	—
環境省	1,239	1,059 (▲15%)	1,059 (▲15%)	—	—	—	—	—	—	—
防衛省	42,289	58,019 (+37%)	—	58,019 (+37%)	—	—	—	—	—	—
合計	315,973	348,765 (+10%)	58,544 (+5%)	122,425 (+15%)	88,673 (+15%)	3,364 (+122%)	9,163 (+1%)	17,899 (+17%)	16,223 (▲8%)	32,474 (▲2%)

注1) 数値は速報値であり、変更となる可能性がある。 注2) 独立行政法人の運営費交付金を含む。 注3) 情報収集衛星は、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的としている。
注4) 各施策の実施効果は複数の条文内容及びぶものと考えられるが、本資料では、複数の条文に関連する施策については、主たる条文についてのみ額を計上し、その他の関連条文については重複計上していない。
注5) 国土交通省においては、この他、平成20年度第二次補正予算にて、人工衛星を利用した測量に係る経費864百万円を計上。